

雌阿寒岳の火山活動解説資料

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

雌阿寒岳では、本日(11月17日)10時10分頃から火山性の連続微動を観測しました。昨日(16日)にも振幅が小さく継続時間がやや長い火山性微動も観測されており、火山活動が高まった状態となっております。

このことから、今後、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では警戒が必要です。

平成20年11月17日14時30分に火口周辺警報(火口周辺危険)を発表しました。

○ 活動概況

・地震・微動の発生状況(図1~2、表1)

本日10時10分頃から火山性の連続微動を観測し、振幅の大きな状況は13時頃まで継続しました。現在も振幅がやや大きい状態が継続しており、火山活動は高まった状態となっています。

9月26日以降地震回数は増減を繰り返していました。また、9月29日及び11月16日に火山性微動が観測されるなど、地震活動は消長を繰り返しながら推移していました。

・噴煙の状況

遠望カメラによる観測では噴煙の状況は、雲のため不明です。なお、17日0時~3時頃までは、ポンマチネシリ火口の噴煙は白色、火口縁上の高さは約200mとやや多い状況でした。

・地殻変動

GPS連続観測では火山活動によると考えられる変動は観測されていません。

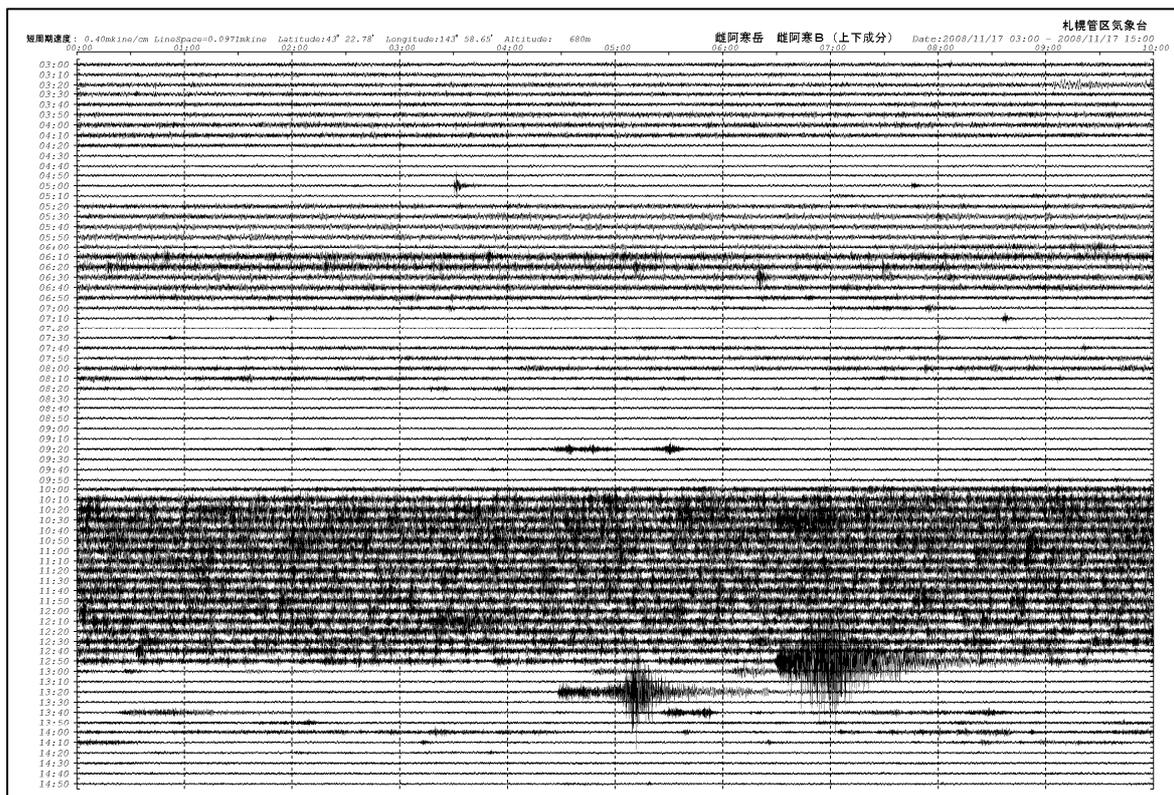


図1 雌阿寒岳 地震波形 (2008年11月17日03時~15時)

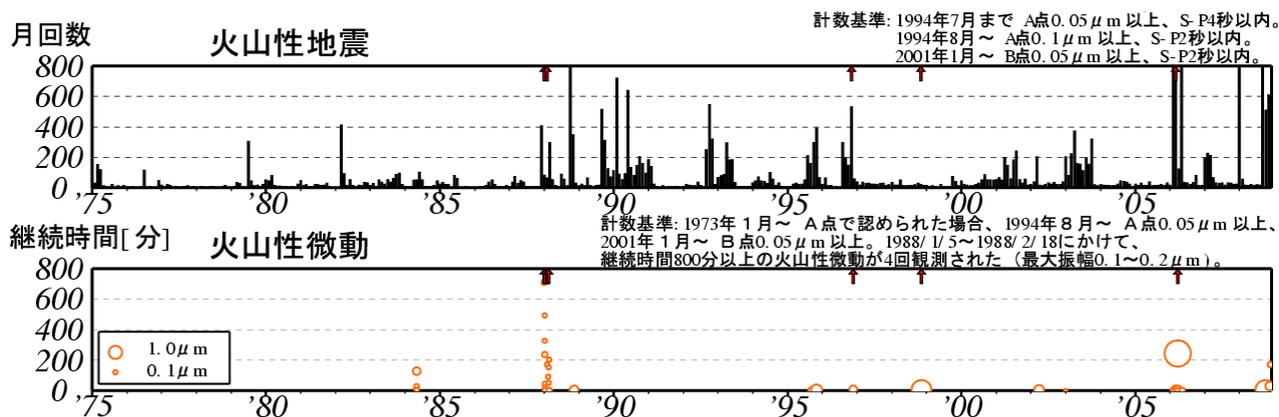


図2 雌阿寒岳 火山性地震及び火山性微動の状況(1975年1月1日~2008年11月17日)

表1 最近の火山性微動の発生状況

発生日時	最大振幅 (μ m)	継続時間
2006年2月18日09時09分	約0.2	約1分
2006年2月18日09時27分	約0.4	約1分
2006年2月19日01時03分	約0.1	約1分
2006年2月19日06時50分	約0.1	約1分
2006年2月20日05時49分	約0.1	約17分
2006年3月19日21時58分	約0.2	約1分
2006年3月21日06時28分	約4.3	約240分
2006年3月23日07時19分	約0.4	約4分
2006年3月23日16時54分	約0.1	約3分
2006年5月9日16時43分	約0.2	約1分
2008年9月16日10時12分	約0.2	約1分
2008年9月29日14時11分	約2.4	約4分
2008年11月16日00時56分	約0.5	約30分
2008年11月17日10時10分	約0.2	約171分